

第7回＜2025年度＞

管理会計講座

(8月19日～12月2日・全20回)

一般財団法人 産業経理協会

経営の根幹を支えるものとして各社各様に構築されている管理会計の目指すところは、企業活動を合理的に行うために必要とされるデータを具体的に提供することにあります。激変する経営環境下においては、常にその体系を「進化」させることが必要となります。すなわち、これまで蓄積されてきた理論的成果、あるいは実践されてきた様々な方法に常時検討を加え、自社の将来的方向性に合致させるという至難な課題に立ち向わなければなりません。

1956 年に創設され、長い歴史と伝統を持った「原価会計講習所（本科と原価管理士科）」は、「原価会計講座」を経て、5 年前には「管理会計講座」と講座名称を変更して現在に至っております。もちろん名称変更にあわせて、内容を根柢的に改変し、IoT・AI の利用が拡大する環境を前提にして、特に製造業も避けて通れない「サービス化」への対応の問題を視野に入れ、また、「最前線」という名称を付した科目に示されるような研究のフロンティアの議論を実務に結び付ける工夫も取り入れており、この講座の受講により、経営に役立てる管理会計の全体像を把握していただけることと思います。

管理会計の理論と実際の的確に把握していただく絶好の機会として、是非とも本講座をご利用賜りますようご案内申し上げます。次第でございます。

本講座の特色

- 1. 本講座は 1956 年より開催しております「原価会計講習所」を前身とし、これまで多くの企業から担当者の方々をご派遣いただき、カリキュラム修了者は述べ、13,868 名を数えるに至っております。
- 2. 原価会計の基礎的知識を既に習得されている方、及び実務経験をお持ちの方を対象といたします。
- 3. カリキュラムには事例研究を多数取り入れ、高度な理論水準を保ちつつ、問題解決型の実務に直接に役立つ講義を行ないます。
- 4. 担当講師は、わが国を代表する学者と著名な実務家によって構成され、それぞれの専門分野をご担当いただきます。
- 5. 業務に差し支えないよう、原則として週 1 回、夜間に開催いたします。
- 6. 所定の講習を修了した方には修了証明書をお渡しいたします。

時 間 各日とも 18 時 15 分～20 時まで 会 場 産業経理協会 2F 講義室（※裏面参照）

日 程			講 義 項 目			担当講師（敬称略）								
＜総 説＞						第11回 9月30日（火）			アメーバ経営の最前線			中央大学准教授 庵 谷 治 男		
第1回 8月19日（火）		管理会計担当者の課題 （ディスカッション形式）		明治学院大学教授 一橋大学名誉教授 尾 畑 裕		第12回 10月9日（木）			原価企画の最前線			立教大学教授 諸 藤 裕 美		
＜管理会計と原価計算＞						第13回 10月15日（水）			JAL再生を導いた 思想と経営システム			株式会社CLホールディングス 取締役 米 山 誠		
第2回 8月26日（火）		ABC／ABMの最前線 （ディスカッション形式）		明治大学専門職大学院専任教授 片 岡 洋 人		＜社会変革と管理会計＞								
第3回 8月29日（金）		原価計算と原価管理		千葉商科大学名誉教授 佐 藤 正 雄		第14回 10月21日（火）		デジタル技術を活用した 管理会計手法			株式会社日立ソリューションズ 取締役常務執行役員 秋 山 岳 志			
第4回 9月3日（水）		直接原価計算の最前線		横浜国立大学大学院教授 高 橋 賢		第15回 10月30日（木）		ESGと管理会計			法政大学准教授 北 田 皓 嗣			
＜戦略計画と管理会計＞						第16回 11月4日（火）		収益管理会計の最前線			専修大学教授 青 木 章 通			
第5回 9月5日（金）		設備投資の 意思決定の最前線		横浜国立大学大学院教授 中 村 博 之		第17回 11月12日（水）		品質コストと管理会計			千葉商科大学大学院客員教授 早稲田大学名誉教授 伊 藤 嘉 博			
第6回 9月9日（火）		BSCの最前線		早稲田大学教授 長谷川 恵 一		＜IoT・AI時代の管理会計＞								
第7回 9月12日（金）		マネジメント・コントロール ・システムと管理会計		成蹊大学教授 伊 藤 克 容		第18回 11月18日（火）		IoTデータの 活用と管理会計			武州工業株式会社相談役 林 英 夫			
第8回 9月16日（火）		予算管理の最前線		早稲田大学大学院教授 清 水 孝		第19回 11月25日（火）		サービス分野の管理会計と ダイナミックAISケイパビリティ			筑波大学教授 岡 田 幸 彦			
第9回 9月19日（金）		製造業における 予算管理・業績管理の事例		日東紡績株式会社執行役 梶 川 浩 希		第20回 12月2日（火）		新しい会計担当者の役割 ーFP&Aー（ディスカッション形式）			日本大学教授 藤 野 雅 史			
＜日本の管理会計＞														
第10回 9月24日（水）		改善とコストマネジメント		明治大学教授 王 志										
10月31日（金）施設見学会				AGC株式会社 AGC横浜テクニカルセンター 13時30分～17時										

テ キ ス ト 講師オリジナルテキストを受付でお渡しいたします。

参 加 費 55,000 円 (非賛助会員 1 名につき) (消費税等 5,000 円 を含みます。)
51,700 円 (当協会普通賛助会員 1 名につき) (消費税等 4,700 円 を含みます。)
49,500 円 (当協会正賛助会員 1 名につき) (消費税等 4,500 円 を含みます。)
49,500 円 (当協会特別賛助会員 2 人目から 1 名につき) (消費税等 4,500 円 を含みます。)
無 料 (当協会特別賛助会員 1 名)
(1 名分 原則として一切の費用を含みます。)

申 込 要 件 1. 「申込方法」の 3 について同意いただいていること。
2. 「個人情報の取扱い」の 1 について同意いただいていること。

申 込 方 法 1. 別紙申込書により、8 月 15 日 (金) までに FAX (0 3) 3 2 5 1-0 5 3 3 でお申込みください。ただし、満員になりしだい締切らせていただきますので予めご了承下さい。
2. 申込書ご記入の際には、お手数をおかけいたし誠に恐縮に存じますが、コード番号欄に、封筒の宛名の下部の括弧内に印字してあります番号 (4 桁) を、また、その番号に続き記号 (2 桁) が印字されている場合には、研究会等識別記号欄に、その記号をお書き添え賜われますようお願い申し上げます。また、緊急連絡等を FAX で行うことがありますので、申込書の FAX 番号欄も必ずご記入くださいますようお願い申し上げます。
3. お申込 (入金済み分を含む) を キャンセルする必要がある場合には、8 月 18 日 (月) の正午までに FAX でご連絡下さい。それ以降のキャンセルは不可とし、欠席された場合でもご請求額全額を申し受けますので、何卒ご諒承の程お願い申し上げます。
4. 特別賛助会員の方は、1 名に限り参加費は無料となりますが、複数のお申込みをいただきました場合には、先着の方を優先して無料適用とさせていただきますので、何卒ご諒承賜りますようお願い申し上げます。

送 金 方 法 1. お申込みいただきました方には、「申込受付書類」(受付票・請求書) をお送りいたします (ご本人宛)。万一お手元に届かない場合には、恐れ入りますがお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。
2. ご送金は、上記請求書にもとづき、原則として開催日までにお手続き下さいますようお願いいたします。

個 人 情 報 の 取 扱 い 1. ご記入頂きました個人情報等につきましては、セミナー、講習会、講座等、当協会主催事業のご案内及びアンケート等のご依頼に際して利用させていただきます。また、講師以外の第三者に提供することはございません。
2. 上記の利用目的にご同意頂くことができない場合には、お申出により当方にて所有する個人情報を消去させていただきます。

申 込 先 一般財団法人 産業経理協会

東京都千代田区神田淡路町 1-15-6

電話 03 (3 2 5 3) 0 3 6 1 (代)

F A X 03 (3 2 5 1) 0 5 3 3



◇ 会 場 ご 案 内 ◇

「産業経理協会ビル 2階 講義室」

東京都千代田区神田淡路町 1-15-6

電話 03 (3253) 0361 (代)

交通機関

東京メトロ
丸ノ内線「淡路町」駅 (A5・A3 出口) 徒歩 2 分
千代田線「新御茶ノ水」駅 (B4・B3 出口) 徒歩 2 分
銀座線「神田」駅 (須田町口) 徒歩 10 分

都営新宿線「小川町」駅 (A7・A5 出口) 徒歩 2 分

JR 線「御茶ノ水」駅 (聖橋出口) 徒歩 7 分
「神田」駅 徒歩 12 分